

関東大震災から 100 年を迎えて

知られざる「悲しみと怒りの手話」

～ 自警団によって惨殺された「ろうあ者」たち ～



今年に関東大震災から 100 年を迎えます。

震災直後のデマから官民一体となった朝鮮人・中国人・社会主義者への虐殺事件が起きました。当時、官立東京聾唖学校の生徒と卒業生たち、そして未就学の「ろうあ者」たちが、朝鮮人とまちがわれて、各地の自警団によって殺害されるという事件が起きました。

自警団は、見かけない人物を呼びとめ「15 円 50 銭」「ぱぴぷぺぽ」の発声を強要し、それが十分にできなかつた「ろうあ者」が殺害されました。

この惨劇の第一報を受けた官立東京聾唖学校校長の小西信八は、急ぎ在校証明書を作り、教職員らを介して在校生に配布しましたが、間に合いませんでした。

関東大震災 100 年の今年、この「ろうあ者」殺害事件について学びたいと思います。明石・伊丹「ろう史と手話」研究会代表で、学生センターの韓国語手話講座のメンバーでもあった藤井裕行さんを講師に講演会を開きます。藤井さんは、「ろう史と手話」の研究を進める中で、今回のテーマに関する新しい史料も発掘され、当時の支援状況も明らかにしています。

日時：2023 年 9 月 27 日（水）午後 6 時半 ～

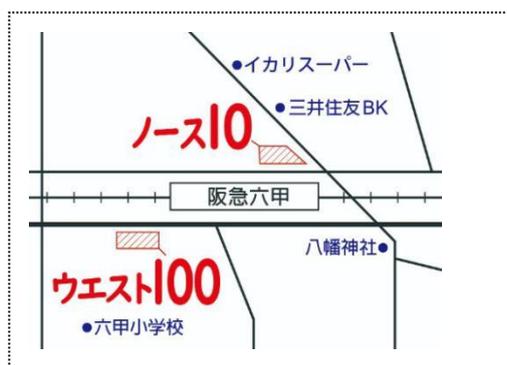
会場：神戸学生青年センターウエスト 100、会議室 A

阪急六甲駅下車、線路南を西へ 100 メートル TEL 078-891-3018

講師：明石・伊丹「ろう史と手話」研究会代表 藤井裕行さん

元伊丹市役所職員で、50 年にわたって手話と、その手話を母語に生きる人々と交わり、コミュニケーション支援と歴史を生きた「ろう者」の足跡と手話の歩みを探る活動を続ける。

参加費：1,000 円



主催：神戸学生青年センター

〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22

TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019

URL <https://ksyc.jp/> e-mail info@ksyc.jp